

尾張西枇杷島まつり



200年以上の歴史を語り継ぐ
尾張西枇杷島まつり。6月4日
(土)・5日(日)、まちは熱気に包
まれた・・・

町内から繰り出す5輦の山車は、
それぞれ豪華絢爛、からくりの粋
を競います。その伝統と格式に多
くの観客が酔いしれました。

4日、本通りは200もの露店が
並び、約12万もの人で埋め尽くさ
れました。

夕方からは雨が降り始めるも、
まつりの盛り上がりは冷めやらず、
火入れした提燈を飾った山車が勇
壮華麗な姿を披露していました。

雨は次第に強くなり、打上げ花
火の開催が心配されましたが、開
始時間には小雨になり、1発目の
花火が打ちあがると、会場からは
大きな歓声と拍手が起りました。





よりともしや
 県道67号線で曲場を披露する頼朝車
 通り行く車内からも人々が見守る(間屋町)

ま え ば
 まつりの見せ場“曲場”

約4トンもの山車を持ち上げ、半回転させる「曲場」。すべての役割が一つになり、勇壮な見せ場を披露します。



曲場の前に円陣を組み
 気合いを入れる(東六軒町)



曲場が始まるとお囃子は速くなり、
 囃子方は音色で盛り上げる(西六軒町)



てこ
 梃子で車輪を調整し、
 山車を回転させていく(西六軒町)

